

# 「地域防災力の向上のために（提言案）」に関する県民意見の募集結果の概要について

防災局防災危機管理課

## 1 意見募集の概要

### （１）意見募集の内容

県では、消防団や自主防災組織、ボランティアのメンバーで構成する「地域防災組織活性化検討会」の提言を受けて、防災現場で活動する県民の意見を集め、災害時の地域住民の対策や取り組み等をまとめた「地域防災力の向上のために（提言案）」を作成した。

そして、より県民の皆様の意見を反映させた提言とするため、県民の皆様から意見を募集した。

### （２）意見募集の方法

県庁県民室、各総合事務所県民局、各市町村防災担当課及びインターネット上に提言案を掲出し、郵送、ファクシミリ、電子メール、県民室（局）募集箱への投函により募集した。

（３）意見募集期間 平成17年2月8日から3月1日まで

（４）寄せられた意見の数 46件（46名、122項目）

## 2 意見への対応等及び主な意見

### （１）意見への対応

122項目の意見を「提言案に追記が適当なもの（41項目）」、「既に記載してあるもの、または類似意見（52項目）」、「追記が不要または適当でないもの（29項目）」に分類し、については基本的に提言案に反映させた。

### （２）提言案へ反映させた主な意見

毎月、防災器具点検の日などを設け、防災行政無線などで住民に呼びかけ、家庭内での防災活動を促してはどうか。

幅広い年齢層の住民に啓発するよう、ビデオなどの視聴覚教材を活用してはどうか。

テレビなどを使って啓発してはどうか。子どもが見て、家族を守る父親に期待をかけることで、若い父親の訓練への参加がすすむのではないか。

市町村職員は、自主防災組織の訓練に参加するとともに、地域の実情に合った指導をすべきではないか。

月ごと、季節ごとなど年間を通して計画的に、避難・救助訓練や消火訓練、資機材の点検などを行うようにしたらいいのではないか。

自主防災活動を行う自治会の中で、権限を分散し、中長期的に防災に取り組める役職を設けてはどうか。

高校生にも防災教育を行うとともに、災害時のボランティア活動についても働きかけてはどうか。

老人、歩行困難者の避難計画や訓練の実施を行っている。